

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野( 1/11)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの 平均値 にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
あわじ環境未来島特区 (兵庫県等)	正	A 5.0	A 4.5  進捗度 ・エネルギー(電力)自給率 100%  ・二酸化炭素排出量 100%  ・再生可能エネルギー創出量 112%  ・新規就農者数 129% 等	B 4.4  規制の特例等 ・太陽光発電施設の系統連系に係る迅速な手続の明文化 等  財政支援等 ・地球温暖化対策技術開発・実証研究事業(多様な主体の創意工夫を生かすエネルギー消費の最適化) 等  地域独自の取組 ・住宅用太陽光発電システム設置費補助金 等	+0.75	<p>・エネルギーから農業・人口にわたる幅の広い目標を、数多くの事業(※1)で着実に達成している点は大いに評価できる。さらに丁寧な事業進捗の把握が期待される。</p> <p>・一部、進捗が芳しくない目標(※2)はあるものの、災害等の不可抗力な要因である。</p> <p>・財政支援ではきわめて多くの取組み(※3)を行っており、着実に進捗している。</p> <p>※1: エネルギー関係として、太陽光発電の導入、バイオマス・潮流発電・太陽熱発電・洋上風力発電の実証実験、農業・人口関係として、お帰りのないプロジェクト、チャレンジファーム事業、食のブランド「淡路島」推進事業 等</p> <p>※2: 一戸当たり農業生産額の目標について、「島内農協の野菜の年間販売額」÷「出荷件数」で見ると対前年比95.1%となっているが、台風や集中豪雨の被害による影響が大きかったとの分析が示されている。</p> <p>※3: 国の財政支援に係る事業として、①地域バイオマス産業化推進事業、②地球温暖化対策技術開発・実証研究事業、③「分散型エネルギーインフラ」プロジェクト導入可能性調査事業、④再生可能エネルギー発電事業を通じた地域活性化モデル開発支援調査事業、⑤地球温暖化対策技術開発・実証研究事業が行われている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

\*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 \*2)「IIIについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。

(注)「総合評価」は5.0を上限とする。